

神奈川県手術看護認定看護師会 第1回新人教育セミナー報告

開催日：2019年7月6日(土)

テーマ：手術室における医療安全管理

～患者誤認防止・針刺し防止・体内遺残防止～

講演1

「患者誤認防止」

三思会 東名厚木病院 大沢直子

「誤認」が生じる背景を基礎講義として、手術室で生じやすい手術部位間違いを例に挙げ、誤認防止対策について写真付きで施設での取り組みが紹介されました。



講演2

「針刺し防止」



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 袖山未来

針刺しにおける血液曝露の影響を解説し、実際に起こった針刺し事故を写真付きで事例として挙げどのような取り扱い、対応が必要か提示されました。また事例の共有方法について施設での取り組みが紹介されました。

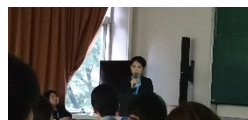
プログラム

10:00～10:30	会場・受付開始
10:30～10:40	オリエンテーション・挨拶
10:40～11:40	認定看護師による講義
12:00～12:40	ランチョンセミナー
13:30～14:20	グループワーク
14:30～14:45	グループワーク発表
14:45～15:00	質疑応答・アンケート記入 終了の辞

講演3

「体内遺残防止対策」

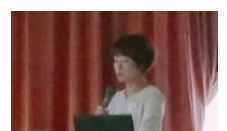
湘南鎌倉総合病院 大川真由



体内遺残の実態を医療事故情報収集等事業の報告書を基に事例の紹介、施設での取り組みの実際が紹介されました。また鋼線付きガーゼが遺残した状態のレントゲンが提示され、実際に目にした経験のない看護師にも体内遺残防止目的に実施されるレントゲン画像の確認を多職種で確認する大切さが伝えられました。

ランチョンセミナー講師：スリーエムジャパン(株) 山元美香先生

周術期の術中体温管理について、各種ガイドラインを基に講義していただきました。全身麻酔導入後に起こる体温変動を手術看護経験の浅い看護師にもわかりやすく、体温管理の方法と実際を学び知識を深めることができました。

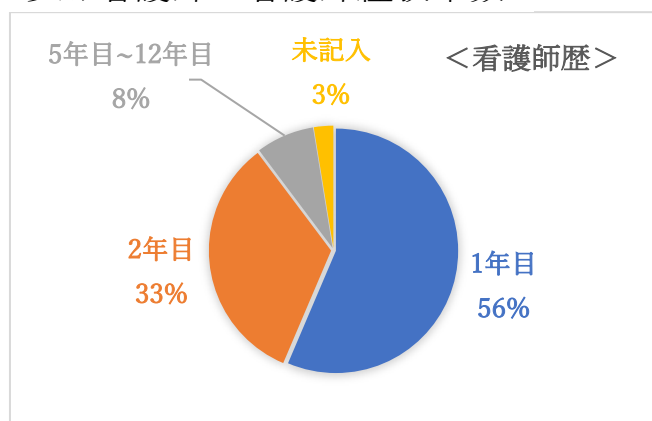


アンセルヘルスケアジャパン、東レ・メディカル株式会社によるアイスブレイクで会場が大いに盛り上がった後に、「患者と私たちの安全を守るために明日からできること」と題してグループワークを開催しました。グループワークでは、他施設の同期となる看護師と意見交換、悩み相談ができよかったとの感想が寄せられました。

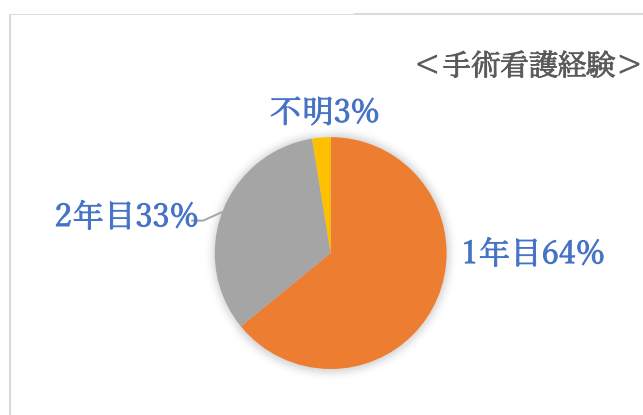
アンケート結果の一部を紹介いたします。



参加看護師の看護師経験年数



手術看護経験年数



～自由記載ご意見より～

- ・具体的な安全管理の対策や視点（明日から実施できること）や他のメンバーと困っていることや悩みを共有しながら、実践に活用できる対応策を考えていくことができました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・同じような悩みや、他の人たちがどんな風に仕事を頑張っているのか知ることができて、とても良い経験となりました。
- ・OP看友人はなかなかいないので、OP室あるあるが話せて楽しかったです。
- ・初めて参加しましたが、初めての手術室で緊張しているのは私だけではないんだなと思いました。
- ・同じオペナースとして今悩んでいることを他病院の方と共有できて同じように悩んでいることを知ることが出来た。それと同時にこれからの励みになり参加してよかった。

参加者の方々に多数のご意見を頂戴いたしました。

協賛・共催頂いた企業様ありがとうございました。
神奈川手術看護認定看護師会